貸借対照表

第七号様式

令和 6年 3月31日

資産の部			(単位 円
<u>東 座 の 部</u> 科 目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	57, 389, 275, 752		
有形固定資産	50, 340, 693, 518	50, 534, 814, 765	△ 194, 121, 24
土地	23, 218, 829, 216	23, 218, 829, 216	
建物	16, 957, 301, 704	17, 144, 728, 921	
構築物	1, 653, 615, 335	1, 788, 001, 102	△ 134, 385, 76
教育研究用機器備品	669, 595, 757	555, 162, 650	
管理用機器備品	285, 489, 317	303, 620, 402	△ 18, 131, 08
図書	7, 402, 274, 858		25, 319, 69
車両	17, 422, 526	11, 352, 501	6, 070, 02
建設仮勘定	136, 164, 805	136, 164, 805	
₩+ ×+ */₹₹ ***	4 000 000 000	4 000 000 000	
特定資産	4, 230, 000, 000	4, 230, 000, 000	
第2号基本金引当特定資産	1, 100, 000, 000	1, 100, 000, 000	
第3号基本金引当特定資産	200, 000, 000	200, 000, 000	
退職給与引当特定資産	600, 000, 000	600, 000, 000	
減価償却引当特定資産	2, 300, 000, 000	2, 300, 000, 000	
職員遺児育英年金引当特定資産	30, 000, 000	30, 000, 000	
その他の固定資産	2, 818, 582, 234	2, 804, 876, 002	13, 706, 23
世地権	115, 394, 999	115, 394, 999	13, 700, 23
電話加入権	12, 566, 947	12, 566, 947	
ソフトウェア	131, 246, 288	117, 540, 056	13, 706, 23
収益事業元入金	473, 672, 000	473, 672, 000	10, 100, 20
<u>保証金</u>	2, 085, 702, 000	2, 085, 702, 000	
NIA HIPTE	2, 000, 102, 000	2, 000, 102, 000	
流動資産	7, 526, 061, 618	7, 188, 455, 986	337, 605, 63
現金預金	7, 156, 927, 505	6, 678, 727, 506	
未収入金	175, 160, 250	314, 281, 011	
前払金	191, 867, 780		
仮払金	2, 106, 083	1, 281, 004	825, 07
資産の部合計	64, 915, 337, 370	64, 758, 146, 753	157, 190, 61
負債の部	T		
科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	1, 768, 736, 125	1, 724, 544, 854	44, 191, 27
長期未払金	189, 901, 030		
退職給与引当金	1, 578, 835, 095	1, 589, 129, 805	△ 10, 294, 71
流動負債	2, 952, 503, 819	2, 780, 656, 389	171, 847, 43
未払金	761, 163, 877	675, 050, 018	86, 113, 85
前受金	1, 893, 621, 850	1, 795, 812, 200	97, 809, 65
預り金	297, 718, 092	309, 794, 171	
18.7 亚	231,110,032	003, 131, 111	12, 010, 01
負債の部合計	4, 721, 239, 944	4, 505, 201, 243	216, 038, 70
純資産の部	1, 1, 200, 011	1,000,201,210	=10,000,10
科目	本年度末	前年度末	増減
基本金	102, 639, 813, 238	102, 936, 927, 238	
第1号基本金	100, 631, 813, 238	100, 928, 927, 238	
第2号基本金	1, 100, 000, 000	1, 100, 000, 000	
第3号基本金	200, 000, 000	200, 000, 000	
第4号基本金	708, 000, 000	708, 000, 000	
	, , , , , , , , , , , , ,	, , , , , , , , , , , , ,	
繰越収支差額	△ 42, 445, 715, 812	△ 42, 683, 981, 728	238, 265, 9
翌年度繰越収支差額	△ 42, 445, 715, 812		238, 265, 93
純資産の部合計	60, 194, 097, 426	60, 252, 945, 510	△ 58, 848, 08

注記

- 1. 重要な会計方針
 - (1) 引当金の計上基準

徴収不能引当金

未収入金の徴収不能に備えるため、個別に見積もった徴収不能見込額を計上している。

退職給与引当金

学校法人、大学、短期大学部、及び専門学校の教職員に係る退職給与引当金については、 退職金の支給に備えるため、期末要支給額 2,170,291,491円を基にして、私立大学退職金財団に 対する掛金の累積額と交付金の累積額との繰入調整額を加減した金額の100%を計上している。

高等学校の教職員に係る退職給与引当金については、期末要支給額 335,196,904円から大阪府 私学総連合会退職資金事業部よりの交付金相当額を控除した金額の100%を計上している。

0 円

- (2) その他の重要な会計方針 預り金その他経過項目に係る収支の表示方法 預り金に係る収入と支出は相殺して表示している。
- 2. 重要な会計方針の変更等 特になし
- 3. 減価償却額の累計額の合計額 46,547,480,458 円
- 4. 徴収不能引当金の合計額
- 5. 担保に供されている資産の種類及び額 該当なし
- 6. 翌会計年度以後の会計年度において基本金への組入れを行うこととなる金額

0 円

- 7. 当該会計年度の末日において、第4号基本金に相当する資金を有していない場合のその旨と対策 第4号基本金に相当する資金を有しており、該当しない。
- 8. その他財政及び経営の状況を正確に判断するために必要な事項

通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っている所有権移転外ファイナンス・リース取引

① 平成21年4月1日以降に開始したリース取引

リース物件の種類	リース料総額	未経過リース料期末残高
教育研究用機器備品	45, 930, 665 円	23, 511, 788 円
管理用機器備品	25, 482, 912 円	15, 060, 984 円

② 平成21年3月31日以前に開始したリース取引

リース資産の種類	リース料総額	<u> 未経過リース料期末残局</u>
教育研究用機器備品	0 円	0 円
管理用機器備品	0 円	0 円